株式会社福岡クリーンエナジーの 経営状況を説明する書類 株式会社 福岡クリーンエナジーの経営状況を説明する書類について

地方自治法第243条の3第2項の規定により株式会社福岡クリーンエナジーの経営状況を説明する書類を提出する。

令和6年9月4日

福岡市長 髙 島 宗一郎

月 次

														~	ページ
第1	쉮	介和 (6 年度	事業計画	に関	する書類	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• 1
	1	事	業	計	画	• • • • • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • • •	• 1
	2	収	支	計	画	• • • • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •		• • • • •		• • • • •	• • • • •	• 1
第2	弇	介和 5	5年度注	決算に	関する	る書類・・	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• 2
	1	事	業	報	告	• • • • • • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	•••••	2
	2	損	益	計算	書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	2
	3	株主	E資本等	変動計算	事書	•••••	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• 3
	4	剰	余 金	の処	分	•••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• 3
	5	貸	借	対 照	表	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• 4
	6	契約	力金額が	3億円」	以上の	工事又は	製造の	請負の)契約	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	•••••	5
	7	契約	力金額か	34,00	0万F	円以上の不	動産等	節の買,	入れ等	の契約	J · · · ·	• • • • •	• • • • •	•••••	5
第3	藍	盖 3	全	会 等	· の	意 見	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	•••••	6
第4	衫	L Z	員	Į	名	簿	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • • •	6

第1 令和6年度事業計画に関する書類

1 事 業 計 画

東部工場の営業運転開始(平成17年8月)以降、安定した操業を継続するとともに、強固な経 営基盤と柔軟な経営体質の確立に向けた諸施策に取り組んできた。

令和6年度は、第6次中期経営計画(対象期間:令和3年度~令和7年度)の下、「安全・安定で確実なごみ処理」や「情勢変化への適切な対応と効率的な経営の推進」等を目指した取組みを着実に推進していく。

また、福岡市との「令和6年度 廃棄物中間処理委託契約」に基づくごみ処理計画量は179,000 t 、 ごみ発電電力量は103,820千kWhを計画している。

なお、令和6年度の経営方針は、以下のとおりとしている。

- (1) 安全・安定で確実なごみ処理を目指す。
- (2) 情勢変化への適切な対応と効率的な経営の推進を目指す。
- (3) 個性の尊重とチームワークで活力ある職場を目指す。
- (4) ごみ処理技術を通して循環型社会形成への貢献を目指す。
- (5) 市民や地域社会から信頼される企業を目指す。

2 収 支 計 画 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:千円、金額は消費税込み)

											, — L	<u> </u>	1/ JE 10/10	(相負/沈/2017)
収			入	入		支					出			
	科	ļ.	l	1	金	額		科			目		金	額
Ì	負	金	繰	越	5	5,260,212	営		業	費	,	用	3	3,076,831
ŕ	営	業	収	入	3	,492,035	営	業	外	費	用	他		378,231
	廃	棄物原	処理委	託料	2	2,666,256		配		当		金		150,000
	売		電	料		822,756		そ		の		他		228,231
	技	術 支	援 委	託料		3,023								
/ <u>i</u>	営業	外収入	(受取者	利息他)		1,067	資		金	繰	į	越	Ę	5,298,252
		計	†		8	3,753,314				†				3,753,314

第2 令和5年度決算に関する書類

1 事 業 報 告

(1) 東部工場の運転状況

福岡市との「廃棄物中間処理委託基本契約」に基づく「令和5年度 廃棄物中間処理委託契約」 を令和5年4月1日に締結し、継続して安定した運転を行った。

令和5年度は、操業開始から19年目となる。令和5年度のごみ処理量の実績は170,112 t、ごみ発電電力量は103,661千 k Whであり、計画値に対してそれぞれ94.0%、98.4%であった。

(2) 当期業績の概要について

売上高については、福岡市からの廃棄物中間処理委託料収入及び九州電力株式会社への売電料収入などにより、3,674,291千円となった。

売上高から売上原価3,184,197千円を差し引いた売上総損益は490,094千円、これから販売費及び一般管理費を差し引いた営業損益は279,331千円となった。

これに営業外収益を加えた経常損益は281,138千円となった。

これから、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を差し引いた結果、当期純損益は 254,989千円となった。

2 損益計算書(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科目	金	額
売 上 高		
廃棄物中間処理委託料収入	2,900,530,045	
売 電 料 収 入 等	773,761,745	3,674,291,790
売 上 原 価		3,184,197,625
売 上 総 損 益		490,094,165
販売費及び一般管理費		210,762,451
営 業 損 益		279,331,714
営 業 外 収 益		1,806,740
経 常 損 益		281,138,454
税引前当期純損益		281,138,454
法人税、住民税及び事業税	47,281,502	
法 人 税 等 調 整 額	△ 21,132,600	26,148,902
当 期 純 損 益		254,989,552

3 株主資本等変動計算書(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

					(事匹・11)	
	杉	未 主	資 2	k		
		利益乳	剰余金		ルトソヤマケ ∧ ⇒!	
	資 本 金	利益準備金	その他利益 剰 余 金 繰 越 利 益	株主資本合計	純資産合計	
			剰 余 金			
令和5年4月1日残。高	5,000,000,000	295,000,000	5,217,661,109	10,512,661,109	10,512,661,109	
事業年度中の変 動 額						
剰余金の配当		15,000,000	△165,000,000	△150,000,000	△150,000,000	
当期純利益			254,989,552	254,989,552	254,989,552	
事業年度中の変動額合計		15,000,000	89,989,552	104,989,552	104,989,552	
令和6年3月31日 残 高	5,000,000,000	310,000,000	5,307,650,661	10,617,650,661	10,617,650,661	

4 剰余金の処分

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭

- (2) 株主に対する配当財産の割当に関する事項及びその総額
 - ① 当社普通株式1株につき 金1,500円
 - ② 配当金の総額 150,000,000円

5 貸 借 対 照 表(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科目	 金 額	科目	金 額
(資産の部)	5 000 050 410	(負債の部)	550 510 055
流動資産	5,686,072,418	流動負債	553,712,955
現金及び預金	5,260,212,913	量 掛 金	21,730,127
売 掛 金	343,740,998	リース債務	2,956,800
貯 蔵 品	72,102,558	未 払 金	426,693,898
その他の流動資産	10,015,949	未 払 費 用	33,195,065
固 定 資 産	5,491,069,938	未払法人税等	68,151,900
有 形 固 定 資 産	5,448,344,292	預 り 金	985,165
建物	2,661,185,081	固 定 負 債	5,778,740
構築物	317,404,831	リース債務	5,778,740
機械及び装置	2,455,725,216	負 債 合 計	559,491,695
車 両 運 搬 具	1	(純資産の部)	
工具器具及び備品	7,948,563	株 主 資 本	10,617,650,661
リース資産	6,080,600	資 本 金	5,000,000,000
無形固定資産	1,855,200	利 益 剰 余 金	5,617,650,661
電話加入権	218,400	利 益 準 備 金	310,000,000
リース資産	1,636,800	その他利益剰余金	5,307,650,661
投資その他の資産	40,870,446	繰越利益剰余金	5,307,650,661
長期前払費用	2,721,066		
繰 延 税 金 資 産	38,149,380	純 資 産 合 計	10,617,650,661
資 産 合 計	11,177,142,356	負債及び純資産合計	11,177,142,356

6 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約 該当なし

7 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約 該当なし

第3 監査役会等の意見

1 会計監査人(有限責任監査法人トーマツ)の意見

計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に 準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点 において適正に表示しているものと認める。

2 監査役会の意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
 - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。
 - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認める。また、当該内部統制 システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は 認められない。
 - ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするにあたり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められない。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果 会計監査人(有限責任監査法人トーマツ)の監査の方法及び結果は相当であると認める。

第4 役 員 名 簿(令和6年8月1日現在)

役	職	名	В	112	3	名	備考
代表」	取締役	社 長	坂	本	秀	和	(常勤)
取	締	役	前	野	正	和	総務部長(常勤)
取	締	役	楠	元	淳	_	技術部長 (常勤)
取	締	役	中	村	卓	也	福岡市環境局長
取	締	役	=	宮	浩	_	九州電力株式会社 常務執行役員 エネルギーサービス事業統括本部 営業本部長
取	締	役	大	貝	知	子	株式会社大貝環境計画研究所代表取締役所長
監	查	役	中	尾	嘉	宏	(常勤)
監	査	役	松	岡	伸	明	福岡市環境局施設部長
監	査	役	豊	島	琢	治	九州電力株式会社 監査等特命役員